



# kanamoto ■ カナモトエグザミナー examiners

## vol.33

第41期第3四半期号

Report to the Shareholders

株主の皆様ならびに投資家の皆様へ

### contents

News Headline	2
台風14号への当社グループの対応ほか	
Lineup	5
取扱い商品紹介	
In Focus	6
営業を支える4つの部門	
3rd Quarterly Report 2005	8
第41期第3四半期財務・業績の概況	
Shareholder's Q & A	10
株主様からの質問に答えるQ & Aコーナー	
Investor Information	11
株式情報	



## 台風14号による被害と当社グループの対応について

9月初旬に全国で猛威を振るった台風14号。この影響で東京や西日本各地で豪雨による土砂崩れや浸水が発生し、特に九州・瀬戸内海沿岸部では高潮災害が生じるなど大きな被害を受けました。

被災者の皆様に謹んでお見舞い申し上げ、一日も早い復旧をお祈りいたしますとともに、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

農林水産省の調査では、今台風による9月26日時点の農林水産業関係の被害額はおよそ1,201億4,300万円にのぼり、この被害金額はまだ増加する見通しです。



土石流に埋まった業者保有の油圧ショベル(鹿児島県桜島地区)

当社グループの営業エリアでは、九州地方の被害が最も大きく、鹿児島県に本拠を構える第一機械産業株式会社は、台風通過直後から復旧工事対応に追わ

れています。

同社からの報告によると、県内では垂水市の被害が著しく、土砂崩れによって主要幹線道路があちこちで寸断され、台風が通過した9月7日から、土砂や倒木の搬出などの復旧工

事が急ピッチで進められています。同社の垂水営業所では近隣営業所のバックアップを受けながら、続々と寄せられるレンタル要請に対応していますが、運搬に使用されるダンプカーや油圧ショベル、タイヤショベルなどが不足し、機械の供給が追いつかない状況です。

復旧活動にかかわる機械の要請は今暫く続くと思われませんが、当社グループといたしましては過去の経験を活かし、一日も早い被災地の復興に向けてお手伝いをしてまいります。☎



民家がほとんど飲みこまれてしまった災害現場(鹿児島県垂水市)

## ソーキ社とのコラボレーションで測器レンタルに本格参入

測量機器・計測器のレンタル・販売を主業とする株式会社ソーキ(都志益一代表取締役、本社:大阪府大阪市)。当社とは以前から取引関係にありましたが、これを発展させ、測器類のレンタルで連携していくこととなりました。

今回の提携により当社は、これまで積極的な営業展開をしていなかった計測機器類のレンタルに本格参入し、新規マーケットを開拓できることとなります。

一方、ソーキ社にとっては、カナモトのネットワークを活用して、従来以上のシェアを確保できるというメリットがあります。

両社が連携し、確固たるサービス体制を築くことで、顧客利便性の向上に努めてまいります。☎



望遠鏡で2点間の方位角・高度角を測るトランシット

構造物の鉄筋寸法や配管の位置を調べる電波レーダー



計測機器編レンタルカタログ



## アセットラインのTHIが合併して、積極的に新規事業を展開



横浜大黒ふ頭に構える敷地面積23,000m<sup>2</sup>の大型展示場と本社。本社2階は収容人数300名を誇る屋内オークションセンター。

「アセットライン」は中古建機ネットオークションサイトとして世界的に高い評価を得ており、当社中古建機販売チャンネルのひとつでもあります。

これを運営する株式会社ティ・エイチ・アイ(川口五郎社長 本社:横浜市鶴見区)が10月1日、一層の事業拡大を目指してシステム開発の株式会社ジークエスト(長倉正彦社長 本社:東京都港区)を合併しました。

THI社では、上述以外にもビデオオークションなど年間約50回以上の競売を開催していますが、合併を機に中古ト

ラック・バス専用ネットオークション事業を新たに展開します。新規事業効果も含めると、2006年9月期は売上高130億円に伸長する計画です。

中古建機販売のパートナーであり、当社も出資させていただいているTHI社。将来の株式公開に期待が弾みます。kca



ビジネスクラスのシート大の椅子にゆったりと座りワイヤレススイッチで応札できる。礼拝堂も完備。

## 北海道日胆ブロックの「秋の大感謝祭」を開催しました

9月10・11日、当社苫小牧営業所で秋の大感謝祭を開催し、2日間で約1,000名ものお客様がご来場されました。常連のお客様のなかには前日の金曜日にこっそり下見にお越しになられていた方も。

さて、初日の朝は小雨模様でしたが、一同の願いが通じたのか、開門前には雨もあがり晴天に。スタッフ全員が法被(はっぴ)に身を包み、秋の大感謝祭が幕を開けました。中古小型建機、仮設ユニットハウスに加え、メーカー各社様の協賛でお求めやすいお値段で商品をご提供したほか、ご多分に洩れずここ苫小牧でも建機の試乗コーナーなど各種イベントも準備万端。今回の目玉商品、KKハウスには注文が殺到し、くじ引き抽選を行なう盛況ぶりでした。ハウス以外の商品も売り切れ続出で、商品補充のためスタッフがヤードと展示会場を所狭しと駆け回るシーンも。

9月10・11日に苫小牧営業所で開催された「秋の大感謝祭」。2日間で約1,000名ものお客様がご来場されました。



ミニショベルの風船割りゲーム。やってみると案外難しいでしょ？

おかげさまで今回の感謝祭も大成功を収めることができました。なお、小誌を印刷している頃の10月8・9日は旭川営業所で感謝祭の真っ最中。これまでの各地の感謝祭とあわせて、当社ホームページには会場の様子や裏話を掲載しますので、是非ご覧ください。kca



## 札幌商工会議所主催のイベントで当社社長が講演いたしました

札幌の企業にも優れた製品やサービスを提供する有望企業が存在します。一方で事業拡大に新商材を求める企業も存在します。これらを一堂に会し事業パートナーを探すイベントが9月5日、札幌で開催されました。第一部のセミナーでは、取扱う側の企業としてリース業、レンタル業、総合商社の各社が自社を活用する利点をそれぞれ講演。レンタル業では当社社長が講演を行いました。社長講演がご好評だったこともあり、第二部の商談会では多くの企業に来訪いただき、活況を呈しました。これが

大盛況だった当日のセミナー会場



セミナー終了後に開催された商談会。多くの企業が来訪されました。

からも多くの企業とコラボレーションを図ることで、優れた商品をお客様にご提供してまいります。kca

## 社団法人 日本建設機械化協会・建設業部会のご一行が当社を来訪

社団法人日本建設機械化協会(JCMA)・建設業部会のメンバーの方々が北海道視察の一環として、9月9日、当社の苫小牧営業所にお立ち寄りいただきました。

新商材の紹介、整備工場視察の後、簡単なカンファレン

スを設け、質疑応答をいたしました。ご出席の方々から種々のご意見があったなか、特に当社の機械整備状況等々についてご質問があり、当社・レンタル事業部副事業部長兼品質保証室長の平田政一から「レンタル機械の

安全性については品質保証室が中心となって特定自主検査の徹底・強化を図っており、整備の品質向上に努めており、併せて安全衛生室の指導の下、災害ゼロ運動を行なっている」と回答いたしました。

皆様のご意見を参考に、これからもユーザー企業様に安心して機械をご利用いただけるよう、整備体制の強化を図ってまいります。kca



環境・安全をテーマに多数の新商材をご紹介します



営業所併設の工場で、レンタル機械の整備・修理の様子を視察

### 「カナモト坊や」が建機に乗って工事現場に参上します！

右の男の子が通称「カナモト坊や」。まだ名前はないけれど、当社のマスクキャラクターです。元はといえば 学生向けの小冊子「読むカナモト」の表紙デザインだったのですが、1997年の当社ホームページ開設と同時に、キッズコーナーのキャラクターとして、立体的な図柄に可愛らしく大変身。最近ではホームページを飛び出して、広告やオリジナルティッシュのデザインに登場したり、はたまた小誌前号(第32号)では3ページの感謝開催マップに花を添えたりと、あちこちで活躍しています。これが思いのほか好評でしたので来る11月からはレンタル機械にも坊やのステッカーを貼ることに。カナモト坊や効果で、無機質な建設機械も皆さんに親しんでもらえるといいな。kca



ノベルティのカナモトティッシュ



「君の名は……」

## Lineup 取扱商品のご紹介

今回ご紹介する取扱製品のテーマは環境と安全。ユーザーニーズを追求して開発された「濁水処理プラント」「安全装置付発電機」の2点をご紹介します。

### 濁水処理プラント（富士エンジニアリング株式会社）



発電所の移設工事で活躍する同社の濁水処理プラント。手前は濁水を貯める調整池

今回ご紹介する富士エンジニアリング社の濁水処理プラントは、街中であまり見かけませんが、トンネル工事や護岸工事など工事排水が大量に出る現場で大活躍する設備です。

プラントは、工事排水を炭酸ガスで中和し、凝集剤を用いて濁りの成分を沈降させる仕組みで、排水を生態系に影響を及ぼさない基準にまで浄化することができます。しかも沈降させた沈殿物は、ポンプの圧力を利用して脱水、固形化するスグレモノです。

環境、環境保全というとても最近の製品のようですが、実はこの製品、カナモトでは30年も前からレンタルしているんです。これからもカナモトは環境にやさしい機械を積極的に導入し、お客様をサポートしてまいります。富士エンジニアリング株式会社の連絡先は011-271-3991。kca

### 安全装置付発電機（北越工業株式会社）



扉を開くと電圧選択スイッチと出力選択スイッチが。これを同圧に設定すればエンジンが作動

北越工業株式会社( URL : <http://www.airman.co.jp/> )の新型発電機、電圧選択スイッチと出力選択スイッチを同圧に設定しなければエンジンが掛からないところが新機能。と言われても今いち何がいいのかピンとこないところです。日本で使っていた100V用のドライバーをアメリカでそのまま使ったら火を噴いたなんて話をお聞きになったことはありませんか？原因は高電圧の電気を流してしまったためですが、似たような機械が並ぶ工事現場でも電圧確認不足による焼付け事故が頻発しています。ケアレスミスを未然に防止する一工夫がなかなかのスグレモノなんです。しかも接続する機械に応じて200Vと400Vどちらの電圧にも対応できるうえ、公害対策基準もクリア。また一つ、ユーザーニーズに即した安全な商品がカナモトのラインナップに加わりました。kca

## とってもいいモノ・読者プレゼント

今回、製品をご紹介した富士エンジニアリング株式会社様から北の大地・石狩平野の粘土で創られたワインクーラー、ビアジョッキを、北越工業株式会社様から米どころ新潟のもち米をふんだんに使ったお煎餅をそれぞれご提供いただきました。抽選でそれぞれ10名様(計30名様)にプレゼントいたしますので、皆様ふるってご応募ください。応募締切日は11月11日(当日消印有効)です。なお、当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。kca





# カナモトインサイドレポート 営業を支える4つの部門

当社が現在進めている経営計画「メタモルフォーゼ」。この計画には財務的な成長のほか、企業体質の強化と確固とした企業文化の構築を掲げております。これらの実現のために必要なのは、主力のレンタル事業の活性化です。今回はこれを推進しつつ、営業活動を後方から支援する4つの部門をご紹介します。

● 株主総会 監査役員

● 社長 秘書室 監査室 法務室 安全衛生室 関連企業室

● 管理本部

● 営業本部

● 経理部

● 総務部

● 人事部

● 情報システム部

● 事業開発部

● 情報システム部

● システムサポート課/システムソリューション課

● 営業統括本部

● 営業推進室 品質保証室

● レンタル事業部 ニュープロダクツ室/特販事業部/南北北海道地区/

● 北海道地区/東北地区/関東信越地区/

● 近畿中部地区/北海道地区札幌事務センター

● 鉄鋼事業部 情報機器事業部

## 安全衛生室

小誌前号のQ&Aコーナーでもご紹介しました同室は、当社の安全衛生体制の拡充・強化を図っている部門です。その取組みの内容は、労災の撲滅、いわゆる災害ゼロ運動が筆頭にあげられます。自社内に留まらず当社グループ社員や協力業者にも、労働安全衛生に関する法令や自社の安全衛生基準を遵守する指導を行い、危機管理意識の向上に努めています。また、安全かつ効率的な業務遂行のためにはまず快適な労働環境が必要であるため、全事業所に対して職場環境の改善・向上活動を呼びかけています。

一方、サービスに関する取組みでは、レンタル機械の整備レベルの向上に努めており、品質保証室と連携して、万全な整備体制の強化に取り組んでいます。



安全衛生室長 丸山剛

## 品質保証室

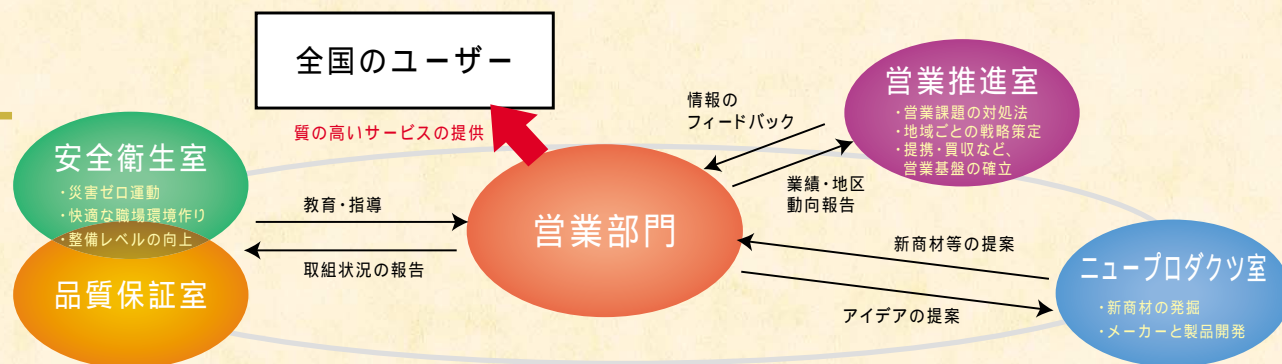
メンテナンスが十分に施され、本来の性能を発揮できる機械をユーザー企業様に安心してご利用いただくことが当社の使命です。

当社が取扱うレンタル機械は、ハンドツールなどの小物機械から大型機械にいたるまで幅広く、その整備に要する資格・知識も多岐に渡ります。

そのため品質保証室では、安全衛生室と連携しつつ、社団法人建設荷役車両安全技術協会が定める「特定自主検査要領」とメーカーの整備要領をもとに、当社独自に機種別の整備マニュアルを作成し、整備員への周知・徹底を行っています。これにより全国各地のレンタル機械の整備レベルの均一化とその向上を図っています。また、整備技術員に講習会や技能教育を実施することで、個人の整備レベルの向上に努めています。



品質保証室長 平田政一



## ニュープロダクツ室

日本の建設業界を取り巻く環境は時代とともに大きく変化しており、ユーザーニーズもまた多様化しています。ニュープロダクツ室では、こうしたニーズに応えるべく、環境や安全に配慮した商品、ユーザビリティに優れた他社との差別化につながる新素材を発掘するとともに、当社が長年レンタルで培ってきた知識とアイデアを活用し、メーカーと共同で製品開発にも取り組んでいます。

最近では、工事現場での油流出事故に対処する「油止め蔵」を商品化して、4月からレンタルの取扱いを開始しました。すでに導入している北海道、東北地区でお客様からご好評をいただいております。今後は取扱いを全国に拡大していく予定です。



ニュープロダクツ室長 吉田道信

## 営業推進室

2005年6月に営業体制の強化を目的に、営業活動を包括的にサポートする部門として設置されました。具体的には、日々営業所から寄せられる膨大な売上データを集積・分析し、対処すべき課題・戦略を営業サイドにフィードバックする、いわば「営業部門の左脳」です。また、これら集約した情報により全国、地域ごとの特性に応じた戦略を策定し、営業所と一体となって全国のユーザー企業様にご満足いただけるサービスの提供に努めています。

平行して、本号2ページでご紹介したソーキ社とのコラボレーションや、ホームセンター大手のコメリ社とのツールレンタル事業など提携や買収等々による事業規模シミュレーションや、競合の解析など、将来を見据えた営業基盤の確立に努めています。



営業推進室長 小谷正広

これらの各部門が1つ1つの取り組みを着実に実践し、連携して営業部門をサポートすることが、サービスレベルを向上させ、ひいては当社の企業ブランド確立につながっています。今後もたゆまぬ研鑽を重ねて、第一線の営業を力強くバックアップしていきます。CC



## 第41期第3四半期財務・業績の概況 [ 2004(平成16)年11月1日から2005(平成17)年7月31日まで ]

### 経営成績(連結)の進捗状況

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期(当期)純利益(純損失) (百万円)	EPS (円)
41期第3四半期	46,374( 4.3 )	170( 74.4 )	14( 97.5 )	349( )	11.71
40期第3四半期	44,478( )	666( )	574( )	549( )	18.40
(参考)40期通期	61,336	1,878	1,749	1,097	36.50

(注)売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

### 経営成績(連結)に関する説明

経営環境 [ 2004年(平成16)11月~2005年(平成17)7月 ]  
当第3四半期の日本経済は、電機、自動車など大手基幹産業をはじめとする企業収益の改善に加え、個人消費も持ち直すなど、景気は弱さを脱する動きが見られましたが、鉄鋼・原油をはじめとする原材料の高騰もあり、全般的には踊り場

の状態が続きました。一方、当社グループの主要ユーザーである建設業界でも、民需が旺盛な首都圏や東海地区では回復基調にありましたが、民需に期待できず公共事業が減少傾向にある地方では閉塞感が強く、引続き厳しい環境にありました。

### 第3四半期までの業績結果

当社グループの主力事業である建機レンタルにおいては、第3四半期は例年、建機レンタル需要が減少する端境期であり、さらに地方における需要が一段と落ち込むなど全体的に厳しい環境でありました。ただ、北海道、九州など苦戦した地区はあったものの、建機レンタル売上は対前年同期比増の結果を得るなど健闘いたしました。

一方、同事業の販売については、レンタル資産(中古建機)売却を当初計画どおり抑制したことから、販売売上は対前年

同期比減の結果となりました。また、利益面では一部連結会社の減益幅が当初計画に比べ増大したこと、さらに保守会計の観点から子会社、関連会社への貸付金及び株式評価損見合いの引当てをしたことなどから厳しい結果となりました。この結果、平成17(2005)年10月期第3四半期終了時点での連結売上高は463億74百万円、連結営業利益は1億70百万円、連結経常利益は14百万円、連結当該四半期純損失は3億49百万円となりました。

### 特記すべき事業展開と拠点新設閉鎖の状況

当第3四半期における拠点の新設閉鎖については、夕張営業所(北海道夕張市)、小千谷営業所(新潟県小千谷市)をそれぞれ新設し、閉鎖はありませんでした。新設の前者は、総貯水容量が国内第4位の規模となるシューパロダム建設対応

のため、後者は昨年発生した新潟県中越地震災害復旧対応のための出店です。新規の公共事業では、北海道新幹線が予算化され、新函館駅までの路線が着工されており、需要対応のため鋭意注力しております。



## 財政状態(連結)の変動状況

	総資産 (百万円)	株主資本 (百万円)	株主資本比率 (%)	1株当たり株主資本 (円)
41期第3四半期	86,152	32,319	37.5	1,082.53
40期第3四半期	88,489	32,175	36.4	1,077.38
(参考)40期通期	89,323	32,745	36.7	1,096.42

## 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	現金及び現金 同等物期末残高 (百万円)
41期第3四半期	11,609	440	2,745	20,158
40期第3四半期	5,078	230	269	16,541
(参考)40期通期	6,230	1,535	4,923	11,734

## 第41期(2005年10月期)の連結業績予想

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	EPS (円)
通期(予想)	63,500	1,220	980	280	9.38

## 通期業績の予想

当該四半期における業績は当初の計画を下回る推移でありましたが、主力の建機レンタルが端境期である第3四半期時点でも前期と比較して伸長しておりますこと、例年、第4四半期中盤以降から暫時、建設工事量が増加することから、通期業績も概ね中間決算短信発表時点で修正した

業績予想どおりに推移するものと考えております。よって、上記記載の業績予想は、本年6月に公表した第41期中間決算短信に記載した修正通期予想の業績であります。

## 定性的情報

この業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の経済環境予想等に基づいて予測し作成したものであり、リスクや不確定要素が含まれております。

従いまして、実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、市場動向、競合状況等、今後様々な要因によって、記載の金額の予想数値と異なる可能性がありますのでご承知おき下さい。

## 株主様からの質問に答えるQ & Aコーナー

株主の皆様からカナモトに寄せられたご質問をご紹介します。誌上でお答えします。

**Q** 厚生年金基金の代行返上という文字が一時期、新聞紙面に躍っていました。カナモトの厚生年金基金の運用はどうなっているのでしょうか？

**A** 厚生年金基金は、厚生年金の給付の一部を企業が代行し、それに企業独自の企業年金給付を上乗せする制度です。将来の給付に必要な額を積上げる完全積立方式なので、国が定める予定利率を下回り積立不足が発生した場合には、事業主がその差額を補填しなければなりません。しかし、バブル経済崩壊以後の低金利と株式市場の低迷により、多くの基金が積立不足に陥ったこと、また平成12年4月には退職給付会計が導入され、退職給付金などを債務計上しなければならなくなったことも重なり、基金運営が企業の存続を左右しかねない大きな問題となってきたのです。そこで、平成14年4月の法改正で、代行給付の支払い義務を国に返上できるようになりました。前置きが長くなりましたが、こうした経済環境を踏まえ、当社は平成17年3月31日に代行返上を行い、本年8月29日には返還相当額1,295百万円の納付を完了いたしました。これにより当社の厚生年金基金は解散し、確定給付企業年金(基金型)の企業年金制度へと移行しています。

当社にとって代行返上のメリットは、代行部分の債務計上がなくなること、運用結果が予定利回りを下回ってもその分の追加支出を抑制できることなど、財務リスクを軽減できる点にあります。また、従業員の雇用の安定につながることで、株主様のリスク回避につながることから、現状は代行返上のメリットは大きいと考えています。☑

**Q** アスベストについて取り沙汰されているが、カナモトではどうなっていますか？

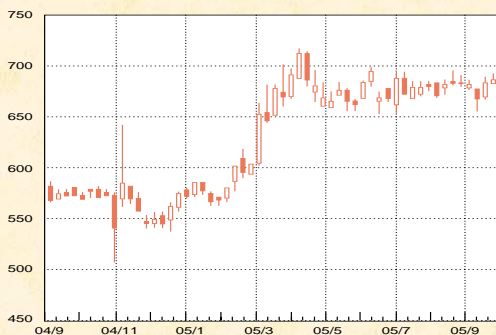
**A** 当社に関わるアスベスト事案は、当社レンタル機器の除去作業使用実態と、社内設備への使用実態の二つがあります。まず、一つめのレンタルについて、除去作業への使用が懸念されるのは集塵機(バキューマー)ですが、残念ながらアスベストを飛沫・拡散させない製品ではありません。また、アスベストは法令で処理方法を指定されているため、アスベストを吸い込んだ集塵機は、産廃処理事業の許可を持たない者は動かすことすらできません。このため、お客様にはレンタル機器をアスベスト除去作業に使用できない旨ご通知し、工事内容を確認のうえ出荷させていただいております。なお、対策商品の開発を、メーカー、専門業者、当社のニュープロダクツ室で進めており、近々、検証を実施する段階にあります。

二つめの社内設備への使用実態では、調査の結果、簡易な事前検査ではアスベストを検出できなかったものの、建築された年代からアスベストの使用が疑われる建造物が三ヶ所ありました。そのうち二ヶ所は囲い込み工事が既にされており、残る一ヶ所の工事についても専門業者と除去作業計画を作成して対応を進めています。なお、近隣住民の皆様健康に影響を及ぼすものではありませんでしたが、同建造物内で従事していた退職者を含む社員については今後、健康障害を発症する可能性を考慮し、総務部で追跡調査を続けていきます。☑

当社事業や経営、財務に関するご質問がございましたら小誌同封のハガキで、  
または<http://www.kanamoto.ne.jp>の「Contact Us」から、お気軽にお問い合わせください。



## 株価チャート(週足)



## 株価および売買高(東証分のみ。単位:円、出来高は千株)

	始値	高値	安値	終値	出来高
2004年 9月	580	585	567	572	625
10月	572	582	508	541	1,305
11月	570	641	541	546	1,926
12月	542	580	538	572	638
2005年 1月	574	585	563	572	667
2月	574	617	570	608	827
3月	614	700	611	696	1,569
4月	692	717	662	670	1,404
5月	660	684	657	679	558
6月	680	700	654	686	789
7月	687	695	668	682	426
8月	683	695	670	680	638
9月	681	720	656	713	872

## 役員一覧(2005年10月1日現在)

## ●取締役

代表取締役社長	金本 寛中 ※	代表取締役副社長 管理本部管掌	鷲田 秀光 ※
取締役 [(株)カンキ代表取締役社長]	佐藤 幸夫	取締役執行役員 総務部長・債権管理部・監査室管掌	金本 栄中 ※
取締役執行役員 経理部長	卯辰 伸人 ※	取締役執行役員 営業統括本部長・レンタル事業部長・近畿中部地区担当部長	金本 哲男 ※
取締役執行役員 経営企画部長・秘書室長	成田 仁志 ※	取締役	雑賀 忠夫
取締役	川島 治		

## ●監査役

常勤監査役	奥村 敏三	常勤監査役	澤田 紳六
監査役	橋本 昭夫	監査役	辻 清宏

## ●執行役員

営業統括本部付部長 鉄鋼事業部管掌	野宮 秀樹	レンタル事業部副事業部長 特販事業部長・品質保証室長・関連企業室長	平田 政一
事業開発部長・情報機器事業部長	北方 敬一	情報システム部長	熊谷 浩
レンタル事業部北海道地区担当部長	金本 龍男	債権管理部長 監査室長・法務室長	麻野 裕一

(注1) ※印の取締役は、執行役員を兼任しております。(注2) 雑賀忠夫氏及び川島治氏は、商法第188条第2項第7号12に定める社外取締役の要件を満たしております。(注3) 橋本昭夫氏及び辻清宏氏は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

## 編集後記

めっきりと涼しくなりました。札幌の朝晩の寒さはもう晩秋のようでもあります。街路樹も色づき、時々吹く風に落ち葉が舞い始めました。本州のうだるような暑さは勘弁願いたいところですが、こうも急に寒くなると夏の暑さも恋しくなります。それにしても、日本の台風に米国のハリケーンは、異常気象が恒常化している兆候でしょうか。凄まじい破壊力に脅威を感じつつ、神々の鉄槌ならば下されるところが違うだろうとも思いました。台風14号の農作物の被害は相当なものでしたが、日本の治山治水の高い技術力により土木被害はとりえず最小限に抑えられたようです。それに引き換え、緊急事態の対応能力の高さには定評のあるはずのアメリカが、自然相手にあんなにも脆かったとは驚きました。それだけ凄いいハリケーンだったのでしょうが、どうも国益のためと偽った地方の切捨てと、適材適所を怠った選挙のための人事が太過を招いたようです。某元長官の自己弁護は醜い一言に尽きます。

台風が来るたびに日本各地で裏山が崩れて命を落とされている方がいらっしゃいます。大都市は冠水で機能を失い、道路が流されて孤立する市町村があります。つまり、日本の治山治水事業はまだ完成したわけではないのです。喉元過ぎれば熱さも忘れるといいますが、あまりにも安全のための公共事業が軽視されがちです。加えて、無差別発砲事件や陰惨な殺人事件と、生活の安全も吹き飛ばしてしまったようです。先人の選択、和魂洋才を履き違えてはいけません。荒唐した西洋文化は真似る必要はありません。デマゴグだけの新政府といわれぬよう、新人批判に右往左往せずに国民が誇れる国作りを願いたいところです。株価を見れば、巨人が優勝を逃すと不景気になるという定説も覆って、市場が期待をしているのが窺えます。(高山)





本誌は、再生紙と大豆油(ソイ)を使用しております。



## 株式会社 カナモト

(東証一部・札証 証券コード: 9678)  
〒060-0041 札幌市中央区大通東3丁目1番地19  
Tel.: (011)209-1600(大代表)  
<http://www.kanamoto.co.jp>

### 会社概要(2005年10月1日現在)

商号	株式会社カナモト (英文 Kanamoto co.,ltd.)
設立	1964年10月28日
資本金	85億9,673万円(払込済資本金)
上場取引所	東京証券取引所市場第一部 札幌証券取引所
営業拠点	146カ所(カナモト個別)
本社	札幌市中央区大通東3丁目1番地19
発行株数	30,253千株(発行済株式総数)
決算期	毎年10月31日(年1回)
証券コード	9678
従業員数	1,130名(役員・嘱託・臨時雇員を除く)

### 株主メモ

決算日	毎年10月31日(年1回)
株主総会	毎年1月中
同総会議決権行使株主確定日	毎年10月31日
利益配当金受領株主確定日	毎年10月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年4月30日
公告掲載新聞	日本経済新聞
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 (〒100-8212) 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 (〒100-8212) 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
郵便物送付先 および電話照会先	東京都豊島区西池袋1丁目7番7号 (〒171-8508) 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 電話 0120-707-696(フリーダイヤル)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店

当社の名義書換代理人である三菱信託銀行株式会社は、2005年10月1日付でUFJ信託銀行株式会社と合併し、三菱UFJ信託銀行株式会社となりました。この合併に伴い、野村證券株式会社本支店での取次も可能となりました。詳細は最寄りの野村證券株式会社本支店にお問い合わせください。